

News Letter

自治医科大学附属病院 卒後臨床研修センター

令和6年8月

栃木県は朝晩少しずつ過ごしやすくなりました。みなさんのところはいかがですか？
さて、8月 Newsletter 第75回配信です。

【診療科紹介 腎臓内科】

今月は腎臓内科のご紹介です。当科は1988年に循環器内科から診療科として独立し、30年以上の長い歴史を持つ診療科です。入院ベッド数は25床、入院透析センター18床で、早期腎疾患患者への腎生検を用いた診断と治療、末期腎不全患者への透析導入と管理、透析シャントPTAなど、幅広い腎疾患診療に取り組んできました。また、腎臓外科との連携により、透析用ブラッドアクセス造設、腹膜透析カテーテル手術や腎移植前後の患者診療も数多く行っています。

腎臓内科での初期研修では、血圧・血糖管理、膠原病、感染症など総合的な内科診療が学べます。また、熱心な上級医の指導の下、腹部エコーや透析用の中心静脈カテーテル挿入の手技取得も可能です。さらに今年度からは、週1回程度の透析実習日を設け、病棟研修だけでは学べない実践的な透析診療のコツも習得できるようになりました。

当科では、初期研修医による学会発表にも積極的に取り組んでいます。今年度は、日本内科学会や日本腎臓学会の学術大会で6名の先生方の発表を予定しており、経験した症例をより深く俯瞰的に学ぶことができます。

来たる9月28日(土)・29日(日)には、当科主幹の日本腎臓学会東部学術大会が宇都宮市で開催されます。「学生研修医のための教育セミナー」の企画もあり、医学生は参加無料です。会場は宇都宮駅および宇都宮ライトレール発着駅に直結しており、皆さんの奮ってのご参加をお待ちしています！

第54回日本腎臓学会東部学術大会ホームページ

<https://www.m-toyou.com/jsneast54/index.html>



自治医科大学内科学講座腎臓内科学部門 増田貴博

【医師国家試験予想問題】

◆輸液後に細胞外液への分布比率が最も高いのはどれか。

- a. 1号液
- b. 3号液
- c. 4号液
- d. 生理食塩水
- e. 5%ブドウ糖液

正解 d.

(解説) 輸液の主な目的は、水・電解質の補給（是正輸液）と経口摂取の代替（維持輸液）であるが、輸液製剤により細胞内液と外液への分布が異なる。生理食塩水は、細胞外液の張度と等しい(等張)ため細胞外液のみに分布し、5%ブドウ糖は輸液後にブドウ糖が代謝され自由水となり、細胞内・外液に均一に分布する。維持液類（1号液～4号液）は、基本的に生理食塩水と5%ブドウ糖液を配合して作成したものであり、Na濃度(張度)が高い輸液ほど細胞外液を増やし、5%ブドウ糖液の割合が高い輸液ほど細胞内液を増やす。

◆慢性腎不全が進行しても腎萎縮をきたしにくいのはどれか。2つ選べ。

- a. 膜性腎症
- b. ループス腎炎
- c. 糖尿病性腎症
- d. アミロイドーシス
- e. 高血圧性腎硬化症

正解 c.d.

(解説)

- a. ×
- b. ×
- c. ○ 主に近位尿細管でのグルコース再吸収促進により腎肥大を来たす
- d. ○ アミロイドが腎臓に蓄積することで腫大する
- e. ×